

第 30 回全国ラージボール卓球大会

- (1) 名 称 第 30 回全国ラージボール卓球大会
(2) 期 日 平成 29 年 6 月 29 日 (木) ~ 7 月 2 日 (日)
(3) 会 場 和歌山ビッグウエーブ・ビッグホエール
J R 「和歌山」 駅より徒歩約 15 分、J R 「宮前」 駅より徒歩約 7 分
〒640-8319 和歌山県和歌山市手平 2-1-1 TEL (073) 433-0035
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
(5) 主 管 和歌山県卓球協会
(6) 後 援 和歌山県、和歌山県教育委員会、(公社)和歌山県体育協会、和歌山市、
和歌山市教育委員会、和歌山市体育協会 (予定)
- (7) 競技種目

イ. シングルス : 各種目 A / B クラスに分けて実施する。但し、**⑧男子 80、⑨男子 85、⑰女子 80、⑱女子 85 の 4 種目については A / B の区別はしない。**

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ①一般男子シングルス (年齢制限なし) | ⑩一般女子シングルス (年齢制限なし) |
| ②男子シングルス 40 (40 歳以上) | ⑪女子シングルス 40 (40 歳以上) |
| ③男子シングルス 50 (50 歳以上) | ⑫女子シングルス 50 (50 歳以上) |
| ④男子シングルス 60 (60 歳以上) | ⑬女子シングルス 60 (60 歳以上) |
| ⑤男子シングルス 65 (65 歳以上) | ⑭女子シングルス 65 (65 歳以上) |
| ⑥男子シングルス 70 (70 歳以上) | ⑮女子シングルス 70 (70 歳以上) |
| ⑦男子シングルス 75 (75 歳以上) | ⑯女子シングルス 75 (75 歳以上) |
| ⑧男子シングルス 80 (80 歳以上) | ⑰女子シングルス 80 (80 歳以上) |
| ⑨男子シングルス 85 (85 歳以上) | ⑱女子シングルス 85 (85 歳以上) |

ロ. ダブルス : ダブルスは 2 名の合計年齢とし、各種目 A / B クラスに分けて実施する。但し、**⑦男子ダブルス 150、⑧男子ダブルス 160、⑮女子ダブルス 150、⑯女子ダブルス 160 の種目については A / B の区別はしない。**

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ①一般男子ダブルス (年齢制限なし) | ⑨一般女子ダブルス (年齢制限なし) |
| ②男子ダブルス 80 (合計 80 歳以上) | ⑩女子ダブルス 80 (合計 80 歳以上) |
| ③男子ダブルス 100 (合計 100 歳以上) | ⑪女子ダブルス 100 (合計 100 歳以上) |
| ④男子ダブルス 120 (合計 120 歳以上) | ⑫女子ダブルス 120 (合計 120 歳以上) |
| ⑤男子ダブルス 130 (合計 130 歳以上) | ⑬女子ダブルス 130 (合計 130 歳以上) |
| ⑥男子ダブルス 140 (合計 140 歳以上) | ⑭女子ダブルス 140 (合計 140 歳以上) |
| ⑦男子ダブルス 150 (合計 150 歳以上) | ⑮女子ダブルス 150 (合計 150 歳以上) |
| ⑧男子ダブルス 160 (合計 160 歳以上) | ⑯女子ダブルス 160 (合計 160 歳以上) |

ハ. 混合ダブルス : ダブルスは 2 名の合計年齢とし、①~⑥の種目については A / B クラスに分けて実施する。但し、**⑦混合ダブルス 150 と⑧混合ダブルス 160 の種目については A / B の区別はしない。**

- | |
|--------------------------|
| ①一般混合ダブルス (年齢制限なし) |
| ②混合ダブルス 80 (合計 80 歳以上) |
| ③混合ダブルス 100 (合計 100 歳以上) |
| ④混合ダブルス 120 (合計 120 歳以上) |
| ⑤混合ダブルス 130 (合計 130 歳以上) |
| ⑥混合ダブルス 140 (合計 140 歳以上) |
| ⑦混合ダブルス 150 (合計 150 歳以上) |
| ⑧混合ダブルス 160 (合計 160 歳以上) |

※表彰は各種目 1~3 位までとし、該当選手にメダル、表彰状を授与する。ただし参加者が 8 名 (組) に満たない種目は 1、2 位のみでの表彰とする。

※男女シングルス 80・85、男女ダブルス 150・160、混合ダブルス 150・160 は A / B のクラス分けをしない。(A / B の区別については、(11) 参加資格④を参照のこと。)

(8) 試合方法

- ①各種目とも 11 ポイント 3 ゲームマッチとする。
- ②男女シングルスおよび混合ダブルスは、第 1 ステージは 3 名（組）によるリーグ戦とし、第 2 ステージは第 1 ステージの 1 位・2 位の者（組）によるトーナメント方式とする。但し、大会参加申込人数が大幅に増え、競技日程内にできないと主管地が協議し判断した場合は、全てトーナメント方式とする場合がある。
- ③男女ダブルスはトーナメント方式とする。ただし、大会参加人数が少なく、進行に影響がないと主管地が判断した場合、シングルス、混合ダブルスと同じ試合方法とする。

(9) 競技日程（日程については参加申込数などにより大幅に変更することがあります。簡易日程につきましては確定次第本会ホームページにて掲載いたしますのでご承知おき下さい。（6 月上中旬予定））

(予定)	6 月 28 日 (水)	受付、練習	
	29 日 (木)	開会式	(9:00~)
		混合ダブルス	(130~160 決勝まで)
		男女ダブルス	(130~160 一部決勝まで)
	30 日 (金)	男女ダブルス	(130~160 決勝まで)
		混合ダブルス	(120 予選の一部)
		男女シングルス	(65~85 トーナメントの一部まで)
	7 月 1 日 (土)	男女シングルス	(65~85 決勝まで)
		混合ダブルス	(一般~120 決勝まで)
		男女ダブルス	(一般~120 決勝まで)
		男女シングルス	(一般~60 予選リーグの一部)
	2 日 (日)	男女シングルス	(一般~60 決勝まで)
		閉会式	(15:00~ 予定)

(10) 競技ルール

- ①現行のラージボール卓球ルールによる。
- ②使用球は、JTTA 公認プラスチック球 44 mm を使用する
- ③表ソフトラバー（粒高ラバーを除く）のみが使用できる。また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。
- ④ゼッケンは平成 29 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
- ⑤審判は第 1 ステージ・第 2 ステージ（トーナメント）ともに選手の相互審判および敗者審判で行う。

(11) 参加資格

- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 29 年度（公財）日本卓球協会選手登録者であること。
- ②年齢は、平成 30 年 4 月 1 日迄に当該年齢に達している者であること。
（但し、一般に出場する選手の年齢制限はない）
(イ) 40（40 歳以上）は昭和 53 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ロ) 50（50 歳以上）は昭和 43 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ハ) 60（60 歳以上）は昭和 33 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ニ) 65（65 歳以上）は昭和 28 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ホ) 70（70 歳以上）は昭和 23 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ヘ) 75（75 歳以上）は昭和 18 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ト) 80（80 歳以上）は昭和 13 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(チ) 85（85 歳以上）は昭和 8 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
- ③各選手は、3 種目のうち 2 種目まで出場できる。
* 2 種目出場する場合は必ずシングルスを含めて申込むこと。
（例：男子ダブルス、混合ダブルスの 2 種目では申込はできない）
* 同一種目内において、一般と年代別を重複して出場はできない。
- ④ A / B クラス分け
A クラス：全日本選手権大会（一般、マスターズ）、全日本社会人選手権大会出場者および過去の本大会 B クラス優勝者（ダブルス種目含む）および希望者
B クラス：A クラス以外の者
※上記クラス分けは、申込時において選手の自己申告とする。
- ⑤ A クラスの者と B クラスの者で組むダブルスは A クラスに出場するものとし、ダブルスのパートナーは同一加盟団体の者に限る。

- ⑥各都道府県の各種目の代表選手数には制限を設けない。(但し、その年の主管団体都道府県のみ、事前に周知徹底したうえで参加人数を制限することができる。)
必ず各都道府県の加盟団体の責任者が全種目を一括して申し込むこと。
⑦審判ができること。(できれば公認審判員の資格を有することが望ましい)
なお、帯同者が代わりに審判をしてもよい。

(12) 参加料 シングルス 1 名 3,000 円、ダブルス 1 組 4,000 円

(13) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会)

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛
TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

コピーを 〒640-8155 和歌山県和歌山市九番丁 4-1 ラウム[®]和歌山九番丁 205 号室
和歌山県卓球協会 宛
TEL/FAX : (073) 432-6939

**注) 個人またはチームからの(公財)日本卓球協会への直接申込および送金は受け付けない。
必ず各都道府県の加盟団体が上記参加資格を確認し、一括して申込みをするものとする。**

(14) 申込締切 平成 29 年 4 月 13 日 (木) 必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず
(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(15) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (16) その他
- ①一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
 - ②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主場地及び本会宛書面にて連絡すること。
 - ③10 回出場表彰を行います。該当者は参加申込書(10 回表彰欄)に記入申請すること。
(10 回目の出場者が対象。一度表彰された方は該当しません。)
 - ④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受ける事。
 - ⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応致します。
 - ⑥個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。
 - ⑦平成 30 年度に大会要項変更いたします。各都道府県で枠を設けご参加頂きます。

平成 30 年度全日本ラージボール卓球選手権大会

競技種目：男・女シングルス、混合ダブルス(種別は従来どおり)

試合方法：第 1 ステージは 3 名(組)(最大 4 名(組))からなり、上位 1 名(組)によるトーナメント方式とする。

参加枠：各都道府県、参加総数枠の制限を設けております。

(本会決定したものを各都道府県で調整)